

大阪市イノベーション促進評議会平成 平成 28 年度第 1 回 会議要旨

1 日時

平成 29 年 11 月 9 日（水） 9:00～10:30

2 場所

大阪イノベーションハブ（WEB 会議）

3 出席者

松本委員長、吉原委員、藤沢委員
事務局（高田部長、柳内課長、小林課長代理）

4 議題

- (1) 平成 28 年 4 月～9 月の大阪イノベーションハブの活動状況と自己評価について
- (2) 平成 28 年度新規事業「O I H シードアクセラレーションプログラム」の第 1 期活動状況について
- (3) その他

5 会議概要

(1) 平成 28 年 4 月～9 月の大阪イノベーションハブの活動状況と自己評価について

- ・オープン・イノベーションを推進する上で、ベンチャー企業をはじめ、様々な大企業や団体の力を借りて事業を実施しているということ、また、平成 28 年度に入ってから盛りだくさんの事業に取り組んでおり、大変よくがんばっている。
- ・O I H では常にベンチャーの方等の来訪が見受けられ、ベンチャーの方が何か大阪でするに当たり O I H にコミュニティを作る、という動きがあることを感じている。
- ・ここに来て、日本全体でベンチャーピッチなどが盛り上がる中、O I H は先駆的に取り組んできたことから、「何かするなら O I H でやりたい」、というブランディングができているように感じる。
- ・ハーバードのイノベーション関係の先生が大阪を訪れた時に、O I H と連携しているのを見た。海外からの知名度の向上も評価できる。
- ・O I H がより良いものを目指すため、民間移行へ向けての将来設計、取組みについて常日頃から心がけるべき。また、起業家の成功例・知識のライブラリー化に向けて取り組むべき。
- ・さらなる取組みの推進のためには、共催も含め、より多くの大企業のコミットが必要である。

- ・ 民営化を進める、大企業を巻き込む等、いずれにも新聞・雑誌という従来のメディアへの露出の増加が不可欠である。

(2) 平成 28 年度新規事業「O I Hシードアクセラレーションプログラム」の第 1 期活動状況について

- ・ 少数精鋭で短期集中型なので、大変よいプログラムであり、11 月から始まる第 2 期は 6 月～9 月の第 1 期の経験を通じて、よりよいプログラムの環境のもとで成長できるものであると思われる。有料のサービスにならないかとも思う。
- ・ 経済を活性化していく上で、多様性を深めていくことが大変重要になってくる。中でも女性の起業家を育成することがこれからの日本の経済をどのように変えていくかということに大きなインパクトを持つと思う。
- ・ 過去に O I H のプロジェクトとして認定したものを、シードアクセラレーションプログラムで支援する場合、再度、大阪市が成長を支援したプロジェクトとしてカウントすることは差支えない。

(3) その他

- ・ 大学発ファンドが動き出しており、大学発のシーズからだけでなく、外部のベンチャー等が大学と共同研究するような事例にも投資ができるので、このようなつなぎを行うことにも取り組んだらどうか。
- ・ シリコンバレーツアア等の海外ワークショップは引き続きニーズがあるため、開催する意義はあり、一方行き先は多様化してきているので、文部科学省の E d g e プログラム等と連携し、いろいろなニーズにこたえていく必要がある。
- ・ 本当に成功事例を出すためには、勝てる事業戦略を作る必要があり、そのためにはそれに長けた人を O I H に集積させなければならない。

6 会議資料

- | | |
|------|---|
| 資料 1 | 平成 28 年度事業（4 月～9 月）にかかる目標設定とアウトカム（成果）について |
| 資料 2 | グローバルイノベーション創出支援事業 平成 28 年度上半期の主な取り組みについて |
| 資料 3 | 平成 28 年度新規事業 O I H シードアクセラレーションプログラムについて |

参考資料1 うめきたにおけるグローバルイノベーション創出支援の基本方針(改定版)(抜粋)

参考資料2 グローバルイノベーション創出支援事業の体系